



MIRAI プログラム・2022 令和4年度結果概要

1. プログラム概要

外務省では、令和4年度、「対日理解促進交流プログラム」の一環として、「MIRAI プログラム」との名前で、日本の政治・社会・歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目的とし、欧州・中央アジア・コーカサス地域から、将来の活躍が期待される大学生・大学院生及び若手実務者164名を招へいしました。

本プログラムでは、地域又はテーマ毎に計6グループに分けて、まず訪日前オンラインプレプログラムを行い、つづいて対面招へいを実施しました。

第1グループ（西バルカン地域）は令和5年2月28日から3月7日まで、第2グループ（政治・安全保障）は令和5年2月14日から2月21日まで、第3グループ（経済・ビジネス・グリーン）は令和4年12月14日から12月21日まで、第4グループ（科学技術・イノベーション）は令和5年2月14日から2月21日まで、第5グループ（文化・芸術）は令和4年12月14日から12月21日まで、第6グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）は令和5年3月7日から3月14日まで、それぞれ実施しました。

参加者は、行政機関での講義の他、企業訪問、大学訪問、地方訪問、文化体験を通じ、日本を取り巻く国際情勢や日本の社会・経済・科学技術について理解を深めました。日程を終えた参加者からは、今後も日本に関心を持ち続け、またプログラムで育んだ日本との繋がりや学生交流で生まれた友情を大切にしていきたいとの思いも聞かれており、帰国後にそれぞれSNSやその他のメディアを通じて、日本で学んだことや日本の魅力等を積極的に発信しています。この様に、本プログラムは、国際社会における対日イメージの向上や、日本に対する関心を持続的に高める役割を果たしています。

2. 参加国・人数及び訪問地

第1グループ（平和構築）

西バルカン諸国 6カ国, 23名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	アルバニア	3	4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	6
12	コソボ	4	5	北マケドニア	4
3	セルビア	5	6	モンテネグロ	1
総計					23

（訪問地：東京都、広島県）

第2グループ（政治・安全保障）

欧州16か国（国籍16ヵ国），42名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	イタリア	6	9	ノルウェー	1
2	ウクライナ	1	10	ハンガリー	1
3	英国	5	11	フィンランド	3
4	オランダ	2	12	フランス	4
5	スウェーデン	1	13	ブルガリア	1
6	スペイン	5	14	ベラルーシ	1
7	チェコ	1	15	ベルギー	2
8	ドイツ	6	16	ポーランド	2
総計					42

（訪問地：東京都, 広島県）

*選出国英国のうちギリシャ国籍1，スペイン国籍1

*選出国ノルウェーのうちギリシャ国籍1

第3グループ（経済・ビジネス・グリーン）

欧州15ヵ国（国籍15ヵ国），34名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アイスランド	2	9	デンマーク	1
2	イタリア	3	10	ドイツ	5
3	英国	3	11	フランス	5
4	オランダ	2	12	ベルギー	2
5	キプロス	1	13	ポルトガル	2
6	ギリシャ	1	14	マルタ	1
7	スペイン	4	15	ルクセンブルク	1
8	スロベニア	1			
総計					34

（訪問地：東京都, 大阪府、兵庫県）

*選出国オランダから、ドイツ国籍1

*選出国ルクセンブルクから、ベルギー国籍1

*選出国英国から、ポーランド国籍1

*選出国デンマークにフェロー諸島を含みます

第4グループ（科学技術・イノベーション）

選出国 欧州17カ国（国籍18カ国），35名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	イタリア	5	10	スペイン	1
2	ウクライナ	2	11	スロバキア	2
3	英国	4	12	ドイツ	3
4	エストニア	2	13	フランス	3
5	オーストリア	3	14	ブルガリア	1
6	オランダ	1	15	ポーランド	2
7	クロアチア	1	16	ポルトガル	1
8	スイス	1	17	リトアニア	1
9	スウェーデン	2			
総計					35

（訪問地：東京都, 茨城県）

*選出国イタリアからアルバニア国籍1

*選出国英国からポーランド国籍1

*選出国スウェーデンからギリシャ国籍1、ドイツ国籍1

第5グループ（文化・芸術）

欧州3カ国（国籍3カ国），5名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	ギリシャ	3	3	ルーマニア	1
2	クロアチア	1			
総計					5

（訪問地：東京都, 大分県）

第6グループ（法の支配）

中央アジア・コーカサス地域 6カ国（国籍6カ国），25名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アゼルバイジャン	5	4	キルギス	6

2	アルメニア	3	5	ジョージア	6
3	カザフスタン	2	6	タジキスタン	3
総計					25

(訪問地：東京都, 京都府)

3. 日程

第1グループ（西バルカン）

<u>3月1日（水）</u>	本邦着 来日時オリエンテーション
<u>3月2日（木）</u>	上智大学（四谷キャンパス）で学校交流
<u>3月3日（金）</u>	東京都から広島県に移動
<u>3月4日（土）～5日（日）</u>	広島視察 (被爆2世による“sokoiko!広島ピースツアー”, 平和記念公園, 広島平和記念資料館)
<u>3月6日（月）</u>	都内視察, 外務省での成果報告会
<u>3月7日（火）</u>	本邦発

第2グループ（政治・安全保障）

<u>2月14日（火）</u>	本邦着
<u>2月15日（水）</u>	オリエンテーション
<u>2月16日（木）</u>	都内視察 政策研究大学院大学（GRIPS）で学校交流
<u>2月17日（金）</u>	海上自衛隊術科学校との交流
<u>2月18日（土）～19日（日）</u>	広島視察 (広島ピースツアー, 平和記念資料館, 宮島, 縮景園)
<u>2月20日（月）</u>	都内視察, 成果報告会
<u>2月21日（火）</u>	本邦発

第3グループ（経済・ビジネス・グリーン）

<u>12月16日（金）</u>	本邦着, オリエンテーション
<u>12月17日（土）</u>	都内視察
<u>12月17日（土）～20日（火）</u>	大阪府, 兵庫県視察

(おおさかATCグリーンエコプラザ, 関西大学, 堺伝統産業会館, ものづくりビジネスセンター大阪MOBIO, UNOPS S3iイノベーションセンター・ジャパン, 起業プラザひょうご, 神戸大学)

12月21日(水) 上智大学での学校交流, 都内視察, 外務省での報告会
12月22日(木) 本邦発

第4グループ(科学技術・イノベーション)

2月15日(水) 本邦着, オリエンテーション

2月16日(木) 理化学研究所視察
芝浦工業大学での学校交流

2月17日(金)～19日(日) 茨城県視察

東京理科大学スペースシステム創造研究センター視察

茨城県筑波市に移動

JAXA 筑波宇宙センター視察

サイバーダイナスタジオ視察

県立歴史館, 偕楽園, 牛久大仏

2月20日(月) 都内視察, 外務省での報告会

2月21日(火) 本邦発

第5グループ(文化・芸術)

12月16日(金) 本邦着, オリエンテーション

12月17日(土)～19日(月) 大分県視察

(別府市竹細工伝統産業会館, 大分県立芸術文化短期大学, アート NPO BEPPU PROJECT NPO Beppu Project, 海地獄)

12月19日(月) 東京藝術大学での学校交流

12月20日(火) 都内視察(歌舞伎座, チームラボプラネッツ)

12月21日(水) 都内視察(公共国立博物館)
外務省での報告会

12月22日(木) 本邦発

第6グループ(中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」)

3月8日(水) 本邦着, オリエンテーション, 外務省での講義

3月9日(木) 都内視察(最高裁判所, 国連アジア極東犯罪防止研修所等)

3月10日(金)～12日(日) 京都へ移動

京都大学で学校交流

京都市視察（高台寺, 伝統産業ミュージアム, 金閣寺, 友禅工房）

3月13日（月） 都内視察, 研修（西村あさひ法律事務所）

外務省での報告会

3月14日（火） 本邦発

4. MIRAI プログラム記録写真

第1グループ（西バルカン諸国・平和構築）



3月1日 来日時オリエンテーション



3月2日【学校交流】上智大学



3月2日【テーマ関連講義】
独立行政法人国際協力機構（JICA）



3月3日【関係者との意見交換会】
広島平和構築人材育成センター（HPC）



3月3日【歴史的建造物等視察】広島城



3月4日【平和関連視察】広島バーチャルツアー



3月4日【文化体験】書道体験



3月5日【歴史的建造物等視察】宮島・厳島神社



3月6日【歴史的建造物等視察】浅草寺



3月6日【ワークショップ】【報告会】
(写真：外務省提供)

第2グループ（政治・安全保障）



2月15日 来日時オリエンテーション



2月16日【歴史的建造物等視察】浅草寺



2月16日【学校交流・講義】政策研究大学院大学



2月17日【テーマ関連施設・機関視察】海上自衛隊第1術科学校



2月18日・19日【平和関連視察】広島バーチャルツアー「sokoiko! 広島ピースツアー」



2月18日・19日【平和関連視察】平和記念公園・広島平和記念資料館



2月18日・19日【文化体験】書道体験



2月18日・19日【歴史的建造物等視察】宮島



2月18日・19日【地域産業・企業視察】宮島伝統産業会館



2月18日・19日【地域産業・企業視察】縮景園



第3グループ（経済・ビジネス・グリーン）



12月16日 来日時オリエンテーション



12月17日【歴史的建造物等視察】浅草寺



12月18日【テーマ関連視察・機関視察】おおさか
ATC グリーンエコプラザ



12月18日【文化体験】茶道体験（関西大学）



12月19日【テーマ関連視察・機関視察】堺伝統産業
会館「堺伝匠館」



12月19日【テーマ関連視察・機関視察】ものづく
りビジネスセンター大阪 MOBIO



12月19日【歴史的建造物等視察】大阪城



12月20日【テーマ関連視察・機関視察】UNOPS S3i イノベーションセンター ジャパン UNOPS S3i Innovation Centre Japan



12月20日【学校交流】神戸大学



12月21日【学校交流】上智大学



12月21日【テーマ関連視察・機関視察】東京証券取引所 東証アローズ



12月21日【報告会】集合写真（写真：外務省提供）

第4グループ（科学技術・イノベーション）



2月15日 来日時オリエンテーション



2月16日【テーマ関連施設・機関視察】理化学研究所革新知能統合研究センター



2月16日【学校交流】芝浦工業大学



2月17日【テーマ関連施設・機関・最先端技術視察・講義】東京理科大学スペースシステム創造研究センター



2月17日【テーマ関連施設・機関・最先端技術視察・講義】 JAXA 筑波宇宙センター



2月17日【テーマ関連施設・機関・最先端技術視察・講義】 サイバーダイnstスタジオ



2月18日【視察・講義・体験】 茨城県立歴史館



2月18日【視察】 偕楽園



2月19日【歴史的建造物等視察】 牛久大仏



2月19日【文化体験】 茶道体験 茶禅（浅草）



2月19日【歴史的建造物等視察】 浅草寺

2月20日【地域産業・企業視察】 株式会社 TBM



2月20日【表敬訪問】（写真：外務省提供）



2月20日【表敬訪問】（写真：外務省提供）

第5グループ（文化・芸術）



12月16日 来日時オリエンテーション



12月17日【地域産業視察・文化体験】別府市竹細工
伝統産業会館



12月17日【視察・体験】海地獄



12月17日【テーマ関連視察・文化体験】東アジア文

	化都市関連イベント 長唄・三味線演奏体験会 
12月18日【テーマ関連講義・体験】一文人形絵付け体験（大分県立芸術文化短期大学）	12月18日【ホームビジット】アート NPO BEPPU PROJECT 清島アパート
	
12月19日【学校交流】東京藝術大学	12月19日【学校交流】東京藝術大学
	
12月19日【歴史的建造物等視察】浅草寺	12月20日【都内視察】チームラボプラネッツ TOKYO DMM



12月20日【テーマ関連講義・体験】江戸切子づくり体験



12月21日【テーマ関連視察】東京国立博物館



12月21日【報告会】集合写真（写真：外務省提供）

第6グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）



3月8日【日本理解講義／基調講演】外務省 中央アジア・コーカサス室、総合外交政策局安全保障政策課



3月9日【テーマ関連施設・機関視察】最高裁判所



3月9日【テーマ関連施設・機関視察】国際法務総合センター



3月10日【学校交流】京都大学



3月11日【文化体験】高台寺にて座禅体験



3月11日【歴史的建造物等視察】京都伝統産業ミュージアム



3月11日【歴史的建造物等視察】金閣寺



3月12日【文化体験】友禅染体験工房（古代友禅株式会社）にて友禅染体験

 3月13日【テーマ関連講義・関係者との意見交換会】 西村あさひ法律事務所	 3月13日【ワークショップ】 【報告会】
---	--

5. 参加者の感想

第1グループ（西バルカン）

◆ 北マケドニア 社会人

私は日本のことをかなり知っていたと思っていましたが、この交流を通して、全く知らないということがわかりました！日本の文化には、アニメやビデオ、映画を通して出会うことが多いです。日本の歴史、あらゆる文化、音楽、楽器、芸術を知るという点において、オンライン交流プログラムはとても有意義ですが、これまで私たちが学んできたことを実際に体験して、それに触れ、見聞きすることができると、より素晴らしいものとなるでしょう。

◆ ボスニア・ヘルツェゴビナ 大学生

北斎漫画について学んだり、日本文化への関心について他の参加者と議論したことは、とても興味深く、この事前交流プログラムは本当に充実していました。

◆ アルバニア 社会人

広島ピースツアーは、深い印象を残しました。広島と長崎の人々が経験した未曾有の悲惨さ、原爆投下後の心の傷、そして彼らがこの恐ろしい悲劇を乗り越えて復興し、さらに強くたくましく、同時に深い平和的価値観を持つようになった事実は、私にとって長く続くインスピレーションとなることでしょう。

◆ ボスニア・ヘルツェゴビナ 大学院生

私が一番印象に残っているのは、広島訪問です。平和記念公園を訪れ、ピースツアーに参加したことは、私の一生の宝物になりました。平和についての新しいあり方や考え方を学ぶことは、心を揺さぶられる経験でした。また、広島中心部に行き、そこで出会った人たちとのご縁は、間違いなく一生忘れられない体験となりました。また、上智大学を訪れ、小松先生や学生たちと議論したことも、非常に有益な経験でした。

◆ セルビア 大学生

東京と広島、特に平和記念公園で、過ごした1週間で明らかになったのは、日本と母国が現在おかれてる状況は比較にならないということでした。日本の戦争は降伏するという予想された結果で終結しました。しかし、私の地域では、戦争や物理的な戦場がないにもかかわらず、概念や文化・歴史に基づく対立や、メディアによる扇動や、司法におけるパラダイムシフトによる対立に直面しており、それらは終わらないようです。日本の場合（具体的にはアメリカとの関係）とは異なり、西バルカン半島の緊張はやむことなく、むしろ、メディア、政治的ゲーム、内省の欠如によって煽られ、エスカレートするばかりです。私は、教育や強靱性構築に取り組むことがいかに重要であるかを理解しました。

第2グループ（政治・安全保障）

◆ スペイン 社会人

完全にとって代わるとは言えないですが、訪日できない時期において、素晴らしい代替プログラムであったと思います。日本へ行く前に、日本の文化や社会について学び、自分を成長させることができて良かったです。なぜなら、訪日の際に、その知識を生かすことができるからです。

◆ イタリア 社会人

プレゼンテーションはとても興味深く、とても魅力的なものでした。きっと多くの人々を魅了しているであろうアニメの世界を掘り下げるなど、同じような形式での交流の場が継続されるといいなと思います。

◆ イタリア 大学生

平和記念公園と広島平和記念資料館の訪問は、最も印象的な体験でした。平和について深く考え、世界が平和を実現し維持するために、個人でも、また仕事を通してでも自分に何ができるかを考えることができました。また、書道やしゃもじの飾り付けなどの文化体験も楽しかったです。また、ぜひ参加してみたいと思います。

◆ 英国 大学生

特に宮島訪問と広島でのピースツアーが楽しかったです。原爆2世の方から話を聞き、大変深く強い感銘を受けました。宮島の超現実的な自然の美しさと対照的でした。

◆ ドイツ 大学生

広島平和記念資料館の視察、広島でのピースツアー、宮島訪問が最も印象に残っています。日本の人々に混ざって、日本人の日常を垣間見ることができました。平和記念公園で感じたことは、何とも言えない重苦しさでした。広島平和記念資料館では、被爆者の物語を読む機会があり、涙が出ました。宮島では、日本人観光客に混ざって、歴史と文化を間近で見ることができ、息をのむほどの経験でした。

◆ ベルギー 大学生

私の一番の思い出は、江田島市です。学校訪問は、私にとってありがたい恩恵でした。学校

の指導者や学生との交流は、日本の国家安全保障をより深く理解する上で素晴らしいものでした。私たちは率直な意見交換を行い、この絆は長く続くことと思います。また、外務省でのプログラムは、特にハイランクな公務員との出会いが素晴らしい思い出となりました。プログラムの実施期間中、私たちが勉強してきた日本の外交政策について理解促進に役立ちました。

◆ **ギリシャ 社会人**

このプログラムの中で最も印象的だったのは、間違いなく広島平和記念資料館視察とピースツアーでした。広島を訪れることは、子ども頃からの強い憧れでした。今回実際に訪れて、世界の平和構築や歴史、復興に関する貴重な知識を得ることができましたし、日本の危機管理能力への関心もさらに高まりました。

◆ **フランス 大学院生**

海上自衛隊の幹部候補生に会って、彼らのモチベーションや訓練について詳しく知ることができてよかったです。日本の海上自衛隊がこれほど重要だとは知らなかったですし、海上自衛隊が今後直面するであろう防衛上の課題を知ることができ、大変興味深かったです。また、広島のピースツアーもとてもよかったです。原爆投下が人々に与えた影響や、世界的視点から見た日本文化への影響を想像することができたからです。

◆ **フィンランド 大学生**

最も印象的だったのは、海上自衛隊第1術科学校や外務省で、日本の人々と交流したことでした。どちらも会話をした時間は短かったのですが、理解促進に役立ちました。そして、もちろん、ピースツアーや広島平和記念資料館も、とても印象的でインパクトが強く、感情が動かされたプログラムであり、このようなことが二度と起きないように努力したいと心から思いました。

第3グループ（経済・ビジネス・グリーン）

◆ **イタリア 大学院生**

このプレ交流プログラムは非常に興味深く、楽しいものだったと思います。日本や日本のマンガの歴史についてたくさん学ぶことができましたし、ヨーロッパ中の人々と話すことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。近いうちに、日本で、今回のような活動に参加し、この素晴らしい交流の経験を共有した人たちと直接会う機会があればと思います。今回の事前交流会を開催してくださったスタッフの皆様、ありがとうございました。

◆ **ドイツ 大学院生**

私の印象ですが、このプレ交流オンラインプログラムは、現在のデジタル技術を最大限生かしたものでした。MIRAI プログラムはいつもよく構成されていて、内容も素晴らしく、幅広いトピックを扱っており、私から改善についての提案はありません。

◆ **英国 大学院生**

ヨーロッパ人が日本について学ぶとき、言葉の壁や距離の問題、日本人に会うことができないことから、日本人から直接に学ぶ機会はあまりないように思います。しかし、このプログラムは、感動的な形でその機会を与えてくれます。日本の伝統や文化について、国内外で有名な学者、職人、政治家、ビジネスパーソンから学ぶことができるとは想像もしていませんでした。

アイスランド 社会人

すべての体験が印象的で、いくつか選りすぐることは難しいですが、特に印象的だった浅草寺では信じられない光景が広がり、素晴らしい体験でした。貨幣博物館も興味深く勉強になりました。茶道は忘れられない体験であり、感謝しています。先ほども言ったように、プログラム全ての体験がとても特別で、選び難いですが、最も印象的だったことを一つ挙げるとすれば、それは日本の人々でしょう。信じられないほどの優しさと、すべての人、すべてのものに敬意を表すふるまいは、私たち全員が見習うべきものです。日本の文化は素晴らしく、私は多くのことを学びましたし、大変感謝しています。

英国 大学院生

プログラムの中で最も印象的だったのは、浅草と東京証券取引所でした。MIRAI プログラムでは、視察先で著名なゲストの方々にご挨拶や町案内をしていただき、IPO(新規株式公開)のようなイベントを見る素晴らしい機会などがあり、非常に貴重な体験となりました。MIRAI プログラムがなければ、このような場所を訪れ、体験することはできなかったので、忘れられない経験になりました。

スペイン 社会人

ヨーロッパの学生を対象に、よく考えられたプログラムだと思います。学生同士の交流ではお互いに意見交換をし、主要な機関や企業を視察できるのは素晴らしいことです。私はもう学生ではありませんが、もし修士課程に進むことになれば、今回、交流した2つの大学にはとても感銘を受けましたので、ぜひ日本の大学への留学を考えたいと思います。

第4グループ（科学技術・イノベーション）

◆ クロアチア 社会人

日本の文化や国全体について多くのことを学ぶことができ、とても充実しました。グループディスカッションの時間をもう少し増やしたり、アンケートの時間を増やしたりして、与えられたテーマについて自分の考えを表現することができればいいと思います。例えば、日本への訪問に対する希望や期待（例えば、日本の都会だけでなく、田舎や自然も体験したいので、京都にも行きたいと答えた人が多かったです）。与えられたトピックは素晴らしく、私たちの一般的な知識を広げるとともに、文化への理解を深めてくれました。

◆ ポーランド 大学生

プログラムのテーマはとても現代的で、参加者の好みや興味を持たせるとても楽しいものでした。私はマンガの歴史について学び、その起源や、何が影響して現在のもののようにな

ったのかを理解することができて良かったです。特に、最初にマンガという観念が生まれたのがどれほど前のことで、そして長年にわたってさまざまな機能や技術が追加されてきたことに驚きました。講義は非常に興味深く深い内容で、北斎を鑑賞するためのデジタルツールは素晴らしいアイデアですが、スムーズにストリーミングするためには非常に高速で安定した接続が必要なため、zoom ミーティングを通じて楽しむのは簡単ではなかったです。しかし、グループ別プログラムでは、すでに友人でもある参加者の仲間たちと再会することができ、全員が楽しめましたし、次回はこのグループ別の時間がもう少し増えればと思います。

◆ **オーストリア 大学院生**

私の知らなかった新しい側面も知ることができ、とても魅力的なテーマでした。北斎漫画は漫画の起源であること。細萱敦教授に質問できたことが良かったです。

◆ **英国 大学生**

最も印象的だったのは間違いなく JAXA と東京理科大学スペースシステム創造研究センター訪問でした。大学研究室で JAXA と協力し実際に宇宙で使用される予定の研究を見せていただき、更に宇宙飛行士訓練施設や指令センターを見学することができたのは忘れられない経験になりました。

◆ **イタリア 大学院生**

学校交流で日本の大学を訪問できたことが本当に嬉しかったです。実際に学生達がどのように日常を過ごしているか、垣間見ることができました。また教授と学生の関係性もよく理解できました。

◆ **エストニア 大学院生**

茨城県立歴史館に心が引き付けられました。スタッフの方たちの対応は素晴らしかったですし、歴史はとても興味深いものでした。理化学研究所革新知能統合研究センター (AIP センター) の講義も本当に興味深かったです。AI は私の専門分野ではありませんがバイオロジー等、他の分野ととてもうまく結び付けられているので、その概要を学び本当に素晴らしいと思いました。

第5グループ（文化・芸術）

◆ **クロアチア 大学院生**

素晴らしい人たちに出会い、日本について新しいことをたくさん学ぶことができました。本当にありがとうございました。皆さんと直接お会いできるのを楽しみにしています。プログラムに関する情報をもっとウェブサイトに掲載してほしいです。参加者や参加に興味のある学生にとって、役に立つと思います。

◆ **ギリシャ 大学生**

北斎漫画の講義はとても興味深く、インタラクティブな部分がとても良かったです。いつもとても素晴らしい企画でした。そして、チーム内で、訪日についての私たちの期待を共有

できたことも、とても助かりました。

ギリシャ 大学院生

- ・アーティストと出会い交流したこと（充実した時間からより強い絆ができました）
- ・文化的建造物を視察したこと（この国の歴史は息を呑むような素晴らしさがあります）
- ・地下鉄を利用しての移動の間に東京の街中を歩いたこと（日常を経験したことで、より広く良いイメージを得られました）

ギリシャ 大学生

三味線で「さくらさくら」の弾き方を習ったこと、一文人形の絵付けをしたことがとても良かったです。日本の大学生と友情を築けたこともとても喜んでいます。

ギリシャ 大学院生

江戸切子づくり、チームラボの展示の視察、食べ物、東京藝術大学の交流などが多くの経験ができました。

第6 グループ（中央アジア・コーカサス地域・「法の支配」）

◆ **アルメニア 社会人**

多くの気づきを与えてくれるプログラムへの参加を、とても楽しみにしています。

◆ **キルギス 社会人**

私は大のマンガ好きです。特に、このような素晴らしい先生から直接情報をいただけたこと、とても興味深かったです。今後、このような素晴らしい方々と実際にお話できる機会があればと思います。

◆ **タジキスタン 社会人**

私は外務省の訪問が印象的に残りました。外務省職員はとても協力的且つ良いプログラムを構成し、職員による講義は素晴らしかったです。パブリックディプロマシー（広報文化外交）などに関する講義もあれば更に良かったと思います。学術的な面では、京都大学での講義や交流も有意義でした。

教授や学生との会話は、日本人とその考え方を理解する上で有益でした。お互いの文化を学んだり、意見交換することができ、とても充実した時間を過ごすことができました。総じて日本の政治や法の支配に触れ、良い人脈を作る機会にも恵まれました。この関係は長く続くと確信していますし、将来的には協力関係を築くことができるかもしれません。

文化的な面では、座禅や神社等への訪問がとても良かったです。最後の晚餐は、東京湾からの眺めが最高でした。

◆ **ジョージア 大学生**

このプログラムはとても印象的なものばかりですが、特に文化的、アカデミックな経験が出来たことが何より良かったです。今まで知らなかったことを沢山発見することができました。京都大学の訪問は、日本人の学生と交流することができ、一番の収穫でした。

神社やミュージアムなど、日本の文化について知ることができたのも良かったです。

◆ アゼルバイジャン 社会人

最も印象的だったのは、様々な神社へ行ったり、政府機関を通して日本を文化的側面から探求できたことです。日本人の個人的な関係や仕事上の関係、そして自分自身や他人に対する考え方などを、より深く知ることができました。

◆ タジキスタン 大学院生

私はこのプログラムでとても良い経験をしたので、記録した 2,000 枚の写真やビデオをソーシャルメディアなどで共有します。私が最も印象的だと感じたのは、日本人のマナー、礼儀正しさ、優しさです。日本の弁護士や外交官のプロフェッショナルな姿勢にも感銘を受けました。京都は、日本文化にどっぷり浸かったもので、特別な思い出となりました。素晴らしいコーディネーターの方々に心から感謝します。

6. 参加者の SNS での発信内容

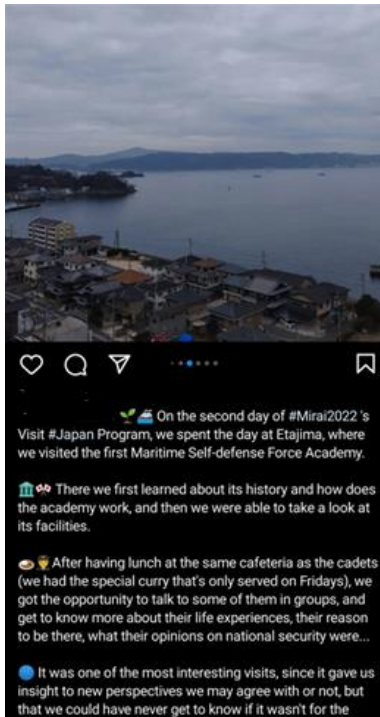
第1グループ（西バルカン・平和構築）

	2022 年 9 月 24 日 (Facebook) セルビア 大学生 本日、2022 年度の対日理解促進交流プログラム MIRAI の第 1 回オンラインイベントとして、オリエンテーションが開催されました。イベント参加者は、細萱敦教授による北斎漫画の講義を通じて、日本文化に触れるとともに、MIRAI プログラム参加への期待を共有することができました。
	

2023 年 3 月 13 日 (Facebook) ボスニア・ヘルツェゴビナ 大学院生 このプログラムでは日本と西バルカン諸国との間の、特に平和構築、経済、教育分野での、協力をより強固なものとするという目的のもとに、(略) オンラインでのプログラムも含め、様々な施設、文化・歴史的建造物を訪れることができました。私はこれまで日本の文化、社会、経済には多くの素晴らしい面があるとずっと思ってきましたが、今回の訪日プログラムで広島平和構築人材育成センター、上智大学等を訪問することによってさらに多くのことを学ぶことができました。こうした機会を与えてくださったことに心より感謝し、日本大使館、RYCO、JICE と今後も協力し合っていくことを楽しみにしています。	2023 年 3 月 15 日 (Facebook) モンテネグロ 社会人 広島を訪れたことは貴重な体験であり、学校で学ぶのと、実際に見たり聞いたりするのでは、情報の定着の仕方がいかに違うかを示す良い例となりました。 原爆投下直後から数年間、広島が経験したことを教えてくれたガイドさんにとっても感謝しています。私が最も大切にしたいのは、戦禍を生き延びた彼の祖父母の教えです。彼らの物語、強さ、恵みが話され共有されることで、なにかしらの形で彼らの記憶が活かされることはとても光栄であり感謝しています。 私たちの多くにとっては想像できないことですが、プライドや復讐心を捨て、平和構築と団結に焦点を当てた哲学に目を向けることが重要です。許しとレジリエンスについて学んだことは、永遠に私の心に残り続けます。
--	--

第2グループ（政治・安全保障）

	 Japanese Manga is a symbol of Japan's cultural heritage throughout the centuries. Today, Prof. HOSOGAYA Atsushi took us through Manga's history and evolution, and the impact this artistic work entails on Japanese international standing and cultural identity. As the time comes to visit Japan as a MIRAI cohort, our interest and our engagement with Japan only grow and reshape. Thank you JICE for the experience. #mirai #sharemyMIRAI #MIRAIalumni
2022 年 9 月 24 日（Instagram） イタリア 大学院生 東京工芸大学の細萱敦教授による素晴らしい講義を実施して下さった MIRAI プログラムに感謝します。テーマは、12 世紀までさかのぼるマンガの長い歴史についてです。今日、最も人気のある本の一種が、これほど長い歴史を持つとは驚きです。	2022 年 9 月 24 日（LinkedIn） ギリシャ 大学院生 日本のマンガは、何世紀にもわたって受け継がれている日本の文化の象徴です。今日は、細萱敦教授が、マンガの歴史と進化、そしてこの芸術的作品が日本の国際的地位や文化的アイデンティティに与える影響について教えて下さいました。MIRAI 参加者として日本を訪れる時が近づくにつれ、私たちの日本への関心と関わりはさらに強くなり、形を変えていくことでしょう。JICE の皆さん、このような経験をさせていただきありがとうございました。

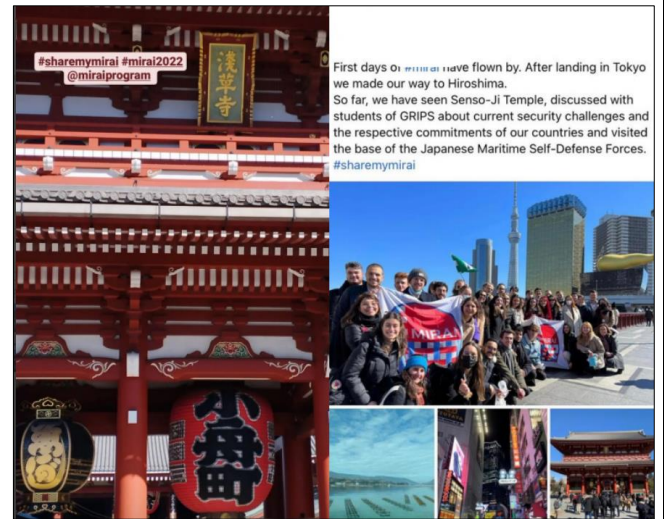


2023 年 2 月 17 日 (Instagram)

スペイン 社会人

2022 年度訪日プログラムの 2 日目は、江田島市に行き、初めて海上自衛隊第 1 術科学校を訪れ、学校の歴史や機能について学び、その後施設を視察しました。幹部候補生たちと同じ食堂で食事をし（金曜日にしか出ない特別なカレーを食べました）、グループで話をする機会を得て、彼らの人生経験やその学校で学ぶ理由、国家安全保障についての考えなど多くを知ることができました。

（略）MIRAI プログラムに参加しなければ知ることができなかったことを教えてくれた最も興味深い視察の一つでした。



2023 年 2 月 18 日 (Facebook)

ドイツ 大学生

MIRAI プログラムの最初の数日はあっという間に過ぎていきました。東京に到着した後、広島に向かいました。これまでに浅草寺を訪れ、GRIPS の学生たちと現在の安全保障上の課題や各国の関与について話し合い、また海上自衛隊の基地を視察しました。

Learning about the history of #Hiroshima and the message of #peace it has for the world through the testimony of a 2nd Gen #hikabusha, has been very touching. I won't forget it. Sincerely hope there are no more Hiroshimas 🙏❤️ #MIRAI #MIRAI2022 #sharemyMIRAI – en 平和記念公園 (Hiroshima Peace Memorial Park) 	I am so grateful to have been a part of this amazing program. Japan surprised me in the best way possible and I can't recommend this unique opportunity to fellow undergraduates/graduates and young professionals enough. I'll cherish and remember ever single bit of this experience for a long time. JICE's International Exchange Programs - Folgen 2 Tg. · G 【MIRAI Visiting Japan Program 2022/2023】 Congratulations! 42 participants of #MIRAI with the theme "Politics and National Security" have arrived in Japan! 
2023 年 2 月 18 日 (Twitter) スペイン 社会人 被爆 2 世の証言を通して、広島の世界や歴史に向けた平和のメッセージを知ることができ、とても感動しています。決して忘れません。広島の悲劇が二度と起きないことを心から願っています。	2023 年 2 月 22 日 (Facebook) ドイツ 大学生 このような素晴らしいプログラムに参加できたことに、大変感謝しています。 何にも代えられないこの機会を、学部生や卒業生、若い社会人の仲間に是非お勧めしたいです。この経験の一つひとつが大切で、忘れられないものになるでしょう。

第3 グループ（経済・ビジネス・グリーン）

This is the first MIRAI online event of visiting Japan program orientation for alumni and for 2022/2023 participants who will visit Japan in the post-pandemic era hosted by JICE. After being locked down for so long, there is a hunger for something new and exciting. This MIRAI online event exceeded our expectations and we have submerged ourselves in the world of virtual Japanese culture - Hokusai Manga. The program began with welcome remarks by the European policy Division of the Ministry of Foreign Affairs of Japan, followed by a Japanese cultural experience of introduction to Hokusai Manga, viewing Hokusai using digital tools, a comparison of Hokusai Manga and modern Manga, and Manga lecture by Professor Hosogaya Atsushi at Tokyo Polytechnic University. Afterwards, we had a small group discussion about the new discovery of Japan's charms through Hokusai Manga and the expectations of the MIRAI Visiting Japan Program Orientation. I really hope that international exchanges like today's MIRAI event would further contribute to unity between EU and JAPAN. #miraialumni #sharemymirai @miraiprogram @jice_exchange 	2022 年 9 月 24 日 (Facebook) (ギリシヤ) MIRAI 同窓生と、2022/2023 年の訪日プログラム参加者を対象とした、MIRAI オンライン訪日プログラムオリエンテーションが開催されました。(略) この MIRAI オンラインイベントは、私たちの期待を上回るものであり、私たちは北斎漫画の仮想世界に没入しました。このプログラムは、外務省欧州局政策課の挨拶から始まり、北斎漫画の紹介、北斎漫画デジタル鑑賞、北斎漫画と現代漫画の比較、東京工芸大学の細萱敦教授の漫画についての講義など、日本文化体験が続きました。その後、北斎漫画を通して新たに発見した日本の魅力や MIRAI 訪日プログラムへの期待について、小グループに分かれてディスカッションを行いました。今日の MIRAI イベントのような国際交流が、EU と日本の関係性強化に貢献することを願っています。
---	--

Today MIRAI programme organized a new virtual session. This time we had the opportunity to participate in an orientation lecture about "Manga in the Edo Period - From Hokusai Manga to Modern Japanese Manga" in cooperation with Toppa Inc., Japan's leading printing company. It was really interesting learning about the long story of Manga and I was personally impressed about its role in teaching Japanese culture, since it creatively and in detail interprets many different aspects of life in Japan like locations, institutions and historical events. Moreover, I had the chance to debate with other participants about our expectations of the MIRAI Visiting Japan Program to Japan, that will take place in 2023. It was an enriching discussion, key to understand what aspects of Japanese culture are people more interested in. Once more, I express my gratitude to Japan International Cooperation Center (JICE) and Ministry of Foreign Affairs of Japan for allowing me to participate in the MIRAI Programme and promote cultural exchange. 🇯🇵 🇪🇺 #MIRAI #MIRAIAlumni #sharemyMIRAI #JICE #MOFA #sharemyMIRAI #MIRAIProgram #Japan #InternationalRelations #MinistryOfForeignAffairs	2022 年 9 月 24 日 (LinkedIn) (スペイン) 本日、MIRAI プログラムの新しい試みとしてバーチャル講義が実施されました。今回、私たちは、日本を代表する印刷会社である凸版印刷の「江戸時代の漫画ー北斎漫画から現代日本のマンガへ」という講義に参加しました。(略) さらには、他の参加者達と、2023 年に実施される MIRAI 訪日プログラムへの期待について話す機会を得ました。そこでは、参加者達が日本文化のどのようなことに興味を持っているかを理解することができ、充実したディスカッションとなりました。(略)
---	--

● Yesterday I had the opportunity to participate in a new #MIRAIPROGRAM meeting, the pre-exchange of MIRAI Visiting Japan Program, that is being organized for the next Fiscal Year 2022/2023.

● At the beginning of the session, we received the welcome remarks of Mr. SAITO AISUKE, the Director of the European Policy Division, European Affairs Bureau at the Ministry of Foreign Affairs of Japan.

He wished us to have a wonderful time during the Visiting program, hoping that this travel will allow us to deepen our knowledge about Japan and its culture.

■ Afterwards, we attended a lecture about "Manga in Edo Period: From Hokusai Manga to Modern Japanese Manga" in cooperation with Ippan Inc. (Japan's leading printing company) and Mr. Hosogaya Atsushi, professor and researcher at the Department of Manga in the Faculty of Arts of Tokyo Polytechnic University.

● When thinking to Katsushika Hokusai's works, the first one you may recall would be certainly "The Great Wave". A wonderful woodblock print painting that I even had the chance to see, during an Hokusai ukiyo-e exhibition which I visited in Italy.

■ However, Hokusai became famous for manga as well.

● Truthfully, the history of Japanese manga started in ancient times, with pictures on scrolls dating back to the 12th century.

Nevertheless, with Hokusai works, this genre became extremely popular.

● Indeed, he was the author of the "Hokusai Manga": a series of sketches that served as a textbook for learning manga drawing, which was published during the 19th century and became soon a best seller.

● In this book, Hokusai depicted work scenes, craftsmanship's scenes, tools that were used during the Edo period, creatures of all sorts: birds, insects, beasts, even Kappa, and many ordinary life moments more.

■ Naturally, during the Edo period, the word "manga" was employed by Hokusai with a different meaning from today. Illustration books like the Hokusai Manga were composed by a lot of pictures to copy as references that were called "manga", without being connected to each other like in the contemporary story-telling manga tradition.

● After this insightful lecture, we had a networking and presentation session among MIRAI participants.

We discussed about our expectations for the future Visiting Japan program and we talked about how we would like to show the beauties of Japan during our trip through social media.

● As always, I would like to thank JICE's International Exchange Programs and the Ministry of Foreign Affairs of Japan for giving me the opportunity to take part to this project.

● I hope that the Visiting Japan Program will be implemented positively next year, when we will visit Japan together and meet in-person for the first time!

#miraiprogram #miraiprogram20222023 #miraiprogram20212022 #sharemyMIRAI

翻訳を要する



2022 年 9 月 25 日 (Facebook) (イタリア)

(略) 日本を代表する印刷会社である凸版印刷株式会社による「江戸時代の漫画ー北斎漫画から現代日本マンガへ」の講義と、東京工芸大学芸術学部漫画学科教授および研究員である細萱敦氏の講義を聴きました。(略)

この洞察に満ちた講義の後、MIRAI 参加者達はネットワーク構築と発表の場を持ち、訪日プログラムへの期待や、訪日中、ソーシャルメディアを通して日本の美しさをどう発信していくかについて話し合いました。

このプロジェクトに参加する機会を与えてくれた日本の外務省及び JICE の国際交流プログラムに感謝したいと思います。来年訪日プログラムが実施され、私たちはともに日本を訪れ、対面で会えることを願っています。

Yesterday I had the opportunity to have a first look into traditional Japanese culture by visiting Asakusa and the Senso-ji temple, the oldest Buddhist temple in Tokyo. There, also lies the Nakamisa shopping street one of the oldest in Tokyo! I would say my favorite part of this day was the street performances, fortunately I was able to watch talented people performing with such passion and dedication, and given that I've always wanted to see these performances live, I truly felt inspired and moved. So far I've been loving this experience, it is dream come true!

#MIRAI2022 #JICE #MIRAIPROGRAM20222023
#SHAREMYMIRAI



2022 年 12 月 18 日 (Instagram) (イタリア)

昨日は、浅草と東京で最も古い仏教寺院である浅草寺を訪れ、初めて日本の伝統文化に触れる機会を得ました。

そこには、東京で最も古い商店街の一つである仲見世があります。この日私が一番気に入ったのは大道芸です。

幸いなことに、才能ある人々の情熱的でひたむきなパフォーマンスを見ることができ、ずっと生でこのパフォーマンスを見たいと思っていたので、とても刺激を受け感動しました。この体験を心から楽しんでいますし、夢が叶いました。

In early 2021 I was selected as one of the two Italian ambassadors of MIRAI 2020-2021 Japan Friendship Time Program by the JCF's International Exchange Programs

and the Ministry of Foreign Affairs of Japan for the group "Business and Economics". Our program was held online due to Covid-19, but in August 2022 we were contacted again by JCF and asked to join the program in person in Japan, along with the other participants of MIRAI 2021-2022, so we mixed together making up the MIRAI 2022-2023 "Economics, Business and Green" group with participants from 15 EU countries.

It was a short, but very full week indeed!

In one week we visited the Asakura Culture Tourist Information Center to learn how the city is responding to over-tourism while keeping sustainability in mind, and we saw the old Sensoji temple. Then we headed to Kansai region and visited the ATC Green Field Plaza in Osaka to learn about Japan's efforts towards reaching SDGs. We also took part in a beautiful tea ceremony hosted by the students at Kansai University.

Finally, we visited the MOEL where we were shown how they provide assistance to small and medium enterprises at a local level.

In Kobe, we listened to a presentation by Mr. Nakamoto Akihiro on how the UNOPS Global Innovation Center fosters the development of start-ups that have SDGs at the core of their activities. Then we had a group discussion with students at Kobe University comparing sustainability aspects of our countries.

In Tokyo again we visited Sophia University, and along with the local students, we compared EU and Japan situations on the topic of people's willingness to start their own company related to the issue of the aging population. Here, I delivered a speech in Japanese to thank the students and Prof. Masaoji K. Yamashita for welcoming us!

We then visited the Japan Stock Exchange Group, and were watched on IPO ceremony!

Finally, we presented in front of the Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs Mr. Takagi Kei and I was such a unique, indescribable experience that left me very emotional.

This trip was full of laughter, delicious food, stunning views, and lovely people. Thank you all for making this trip even better! I will be forever grateful to JICE and MOFA for giving me this wonderful opportunity that I will never forget. I had the most amazing time with incredibly brilliant youth from all over Europe, and we all feel inspired to continue contributing to fostering the connection between our countries and Japan.

最後に、日本！本当にありがとうございました。

I have so many pictures it's hard to know which ones I should post here.

#chancemirai #mirai2022 #miraiprogram #japan #europeanprogram #jice #asakura #kobe #unops #businessandgreen #jcf



2022 年 12 月 25 日 (Facebook) (ポルトガル)

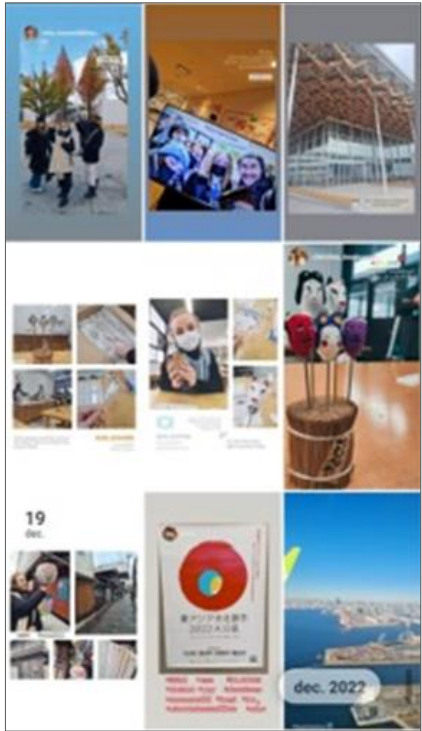
(略) おおさか ATC グリーンエコプラザでは、日本が全国で取り組んでいる SDGs の達成に向けた取り組みについて学びました。その後、関西大学で学生のお点前による伝統的な茶道体験をしました。最後に、ものづくりビジネスセンターを訪れ、地域レベルで中小企業への支援を行っていることを知りました。神戸では、UNOPS S3i イノベーションセンター ジャパンが SDGs を活動の中核とするスタートアップ企業をどのように育成しているかについての講義を聴きました。その後、神戸大学の学生とグループディスカッションを行い、両国のサステナビリティに関する比較検討を行いました。東京では上智大学を訪問し、上智大学生と一緒に、高齢化問題に関連する起業意欲について、EU と日本の状況を比較検討しました。ここで、私たちが歓迎してくれた学生や教授に感謝の気持ちを込めて、日本語でスピーチをしました。その後、東京証券取引所を訪問し、IPO(新規株式公開)のセレモニーを見学しました。最終日に、高木啓外務大臣政務官の前で成果報告会を行いました、言葉に言い表せないほど特別な体験で、とても感慨深かったです。(略) この忘れられない素晴らしい機会を与えてくれた JICE と MOFA に、私は生涯感謝します。ヨーロッパ各地から集まった信じられないほど優秀な若者たちと最高の時間を過ごし、私たちは皆、自国と日本とのつながりを育むために貢献し続けたいと思います。また、今度、日本！本当にありがとうございました。

第4グループ（科学技術・イノベーション）

Manga, a globally known comic book format, actually dates back to the distant 19th century. One of the famous authors of the first manga is Hokusai, who in addition to ukiyo-e style works drew his simple 'sketches', with pictures of people, animals, objects and everyday situations (see the picture below). Today as part of the Japan-European exchange programme MIRAI, professor Hosogaya Atsushi (東京工芸大学, Tokyo Polytechnic University) gave us a brief history of Japanese manga, and together with the other participants we've discussed our main interests in relation to Japan. Did you know that the Japanese style first gained popularity outside the country in the United States, then it was enriched with new details there, and then this new format made its way back to Japan? This is how we got the text clouds ☁️ characteristic of manga and other comics. Thanks to the programme for a very interesting introduction to the subject from a researcher on the subject! #MIRAI #MIRAIalumni #sharemyMIRAI	
2022 年 9 月 24 日（Facebook） エストニア 大学生 （略）今日は日本と欧州の交流プログラム「MIRAI」の一環として、細萱敦教授（東京工芸大学）から日本の漫画の歴史についてわかりやすい説明を受け、他の参加者とともに日本に関する主な関心事を話し合いました。日本の漫画は、まず米国で人気を博し、その後、米国で新しいディテールが加えられ、その新しい形式が日本に戻ってきたことをご存知でしたか？こうして、マンガやその他のコミックの特徴である雲の形の吹き出しができあがったのです。このテーマの研究者から非常に興味深い紹介を受けたプログラムに感謝します。	2022 年 9 月 24 日（Instagram） ポーランド 大学生 今回は、葛飾北斎が江戸時代に描いた人物や動物、仕事道具などの日常を描いた「北斎漫画」を紹介でした。北斎の作品は、基本的に江戸の写生家・絵師志望者の教科書として使われ、北斎の絵を模写することで絵を学ぶことができた。北斎は自分の絵の作品集を「漫画」と呼び、現在のマンガとは全く異なる意味を持っていました。東京工芸大学の細萱敦教授による講義では、マンガの歴史について学ぶことができました。（略）

 igorsmo5 MIRAI. Day 3 [по-русски в комментариях] Today was an extremely busy day. We left Tokyo and visited three different major institutions. First: Tokyo University of Science, where we were	 revvy22 If you hear Cyberdyne and think Terminator, you are not wrong, but in this post I want to introduce you to a less terrifying and much more beneficial Cyberdyne device! These innovative assisting devices serve both therapeutic and regenerative purposes in the rehabilitation of people with mobility issues due to disease or injury. Using sensors on the skin the device detects electrical impulses and performs the
2023 年 2 月 18 日 (Instagram) エストニア 大学生 (略) 東京理科大学、JAXA (ここは日本の NASA のような所) でロケットや指令センターを見学しました。ここで 24 時間、ISS の日本の宇宙飛行士をサポートしています。	2023 年 2 月 18 日 (Instagram) スイス 大学院生 (略) ここは、映画のように恐ろしい物ではなくもっと人の役に立つ機械です。

第5グループ（文化・芸術）

	
2022 年 12 月 20 日（Facebook）（ギリシャ） 東京で初めて出会うものは、（略）想像もしていなかった全く新しい世界です！	2022 年 12 月 19 日（月）（Instagram）（ルーマニア） 人形の絵付けは落ち着いた素晴らしく素敵な時間でした。
What is the best that happened to me in 2022? Usually I am a dreamer and in some moments I tend to dream too much, but all my dreams, expectations or goals became true last year, even so, December was the "Superman" of 2022. Why? Because I had the great opportunity to visit Japan, the land of the rising sun (I must mention that the name suits the country perfectly). In 2020 I registered into MIRA project, an international exchange program, where I followed more online presentation, like an introduction into their culture, I learned the lessons and everything that I learned, but I started to lose hope that we will ever travel to Japan, given the fact that the pandemic crises was growing more and more. After waiting so much and after a long flight, I couldn't believe my eyes I was in Tokyo. I still remember the excitement and the feeling of peace, the looks in the eyes of my colleagues, the sounds of joy and the wonder we had looking at that big city. I was overwhelmed. The 6 days felt like a roller coaster, from which I did not want to get off. I can say a lot about Japanese culture, people, or architecture, still I want to share my most fascinating discovery there. So, I want to talk about Onsen, a small town in Ono Prefecture, known by the hot springs (onsen), where I lived one of the greatest spiritual experiences of my life. At the Hiyotan Onsen I had the chance to experience hot spring bath, which are purely magic. The place makes you feel like you are in a sanctuary, surrounded by the walls made by rocks, the sound of water, the smell, the steam from the water and what I loved most, the showers, with their mirrors and their small chairs. I must mention, also, the spectacular teamLab Planets TOKYO contemporary art museum, the visit at Tokyo University of the Arts where we exchanged ideas with their students, the impression and huge metro lines, the kindness and respectful people, and the fact we can go on an on. One more thing to say, I wasn't sure that I will like the food there, but I decided to try everything they served us, and well, it was great! Japan, for me, was all about spirit, magic, and light. I hope one day I will travel back there. For this unique experience, I want to thank The Embassy of Japan in Romania, the JET's International Exchange Program and of course the Ministry of Foreign Affairs of Japan for fully funding and organizing the MIRA program. I also want to thank Koutetsu de Arte a Design - LTD for sharing this project and for the recommendation to participate. You can find more details about the program here: https://chemulcand-japan.go.jp/en/mira.html PS: Love you guys Christina Koutsouros Wily Chatzidimitriou Genasios Givassakis Katerina Yotzi #MIRA #MIRA2022 #MIRAJapan #MIRAinGreece 	2023 年 2 月 17 日（Facebook）（ルーマニア） （略）私は温泉で知られる大分県の小さな町、別府についてお話ししたいと思います。この町で私は、人生で最も素晴らしい精神的な体験をしました。ひょうたん温泉で、私は純粋に魔法のような温泉を体験しました。岩でできた壁、水の音、匂い、湯気、そして私が最も気に入ったのは、鏡と小さな椅子のあるシャワーです。さらに、壮大なチームラボプラネッツ TOKYO の現代美術館、東京藝術大学の学生と意見交換をしたこと、印象的で巨大な地下鉄の路線、親切で尊敬できる人々など、挙げればきりがありません。（略）私にとっての日本は、スピリット（精神）、マジック（魔法）、ライト（光）に関するものでした。いつか、また日本へ行きたいと思っています。この特別な体験に感謝したいと思います。（略）

第6グループ（中央アジア・コーカサス地域・法の支配）

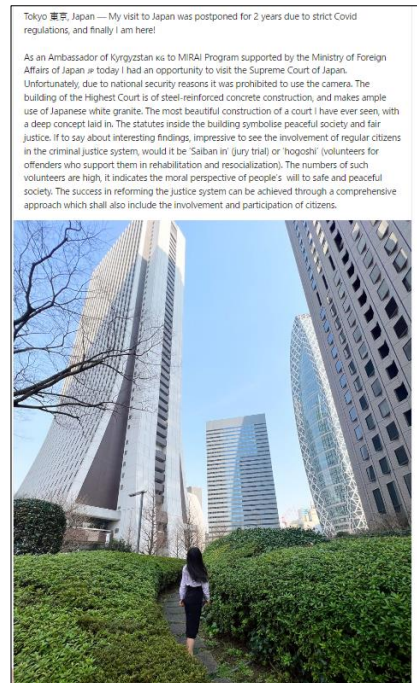
	
2022 年 9 月 24 日（Facebook） キルギス 大学院生 国境を越えた平和への貢献こそ MIRAI である	2023 年 3 月 10 日（Facebook） キルギス 大学院生 高齢化社会、ジェンダー問題、国際的な法の支配、平和と安全を維持するための国際法の意義などについて、濱本教授と京都大学の学生の皆さんと有意義な議論ができたことに感謝します。講義、グループ討議、そして素晴らしい京都でインスピレーションを受けました。



2023 年 3 月 9 日 (Facebook)

アゼルバイジャン 社会人

私は現在、日本の青少年交流プログラムである MIRAI プログラムに参加させていただいております。このプログラムの一環として、私は日本で著名な専門家による「法の支配」をテーマとした講義やセミナーを受講しています。このプログラムの一環として、参加者は外務省、法務省、最高裁判所などの著名な国家機関を訪問し、その業務内容や日本の法の支配にどのように貢献しているのかについて貴重な洞察を得る機会を得ています。さらに、東京と京都のさまざまな史跡を訪ねる機会もあります。



2023 年 3 月 12 日 (LinkedIn)

キルギス 大学院生

(略) 外務省が支援する MIRAI プログラムのキルギス大使として、今日、私は日本の最高裁判所を訪問する機会を得ました。残念ながら、国家安全保障上の理由から撮影は禁止されていました。最高裁判所の建物は鉄骨鉄筋コンクリート造で、日本の白御影石がふんだんに使われています。深いコンセプトに基づいて造られた、今まで見た中で最も美しい裁判所でした。建物内の像は、平和な社会と公正な正義を象徴しています。面白いところでは、一般市民が刑事司法に関与しているのが印象的で、裁判員裁判や保護司(犯罪者の更生・社会復帰を支援するボランティア)でしょうか。このようなボランティアの数が多さに、安全で平和な社会を目指す市民の道徳的な観点が表れています。司法制度改革の成功は、市民の関与と参加という包括的なアプローチによって達成されます。

On March 14, 2023, I had the honor and privilege to successfully complete Japan's Friendship Ties MIRAI program as a part of the Rule of Law Group, sponsored and launched by the Government of Japan and coordinated by the JICE's International Exchange Programs.

I became a finalist in this highly competitive merit-based program in the Spring of 2021 and participated in several online events conducted within the framework of the program that year. The offline visiting part was postponed for two years due to COVID-19 travel restrictions. Finally, on March 8-14, 2023, I was able to visit Japan and take part in educational events coordinated by the organizing team of MIRAI.

The organizing team worked hard on developing the program agenda to make the most of our exchange experience. The program events could be divided into official and cultural ones. The official part included workshops held in the Ministry of Foreign Affairs, International Justice Center (Ministry of Justice), Supreme Court of Japan, Kyoto University, and Nishimura and Asahi Law Firm, Japan's largest full-service international law firm, with more than 700 lawyers working in close collaboration at 18 offices around the world. The workshops deepened my knowledge of Japanese legislation, foreign policy, legal culture, etc.

The cultural part included visiting different temples, museums, restaurants, and tourist attractions in Tokyo and Kyoto cities. The cultural part definitely deserves a separate post!

An important note to share is that January 26, 1992, is considered to be the date of the establishment of diplomatic relations between Kyrgyzstan and Japan. The level of support the Japanese government has provided to the Kyrgyz Republic ever since is tremendous. Only through the fiscal year of 2020 Japan donated 916.61 million U.S. dollars to the development of Kyrgyzstan by providing grants, technical cooperation, and other charitable contributions.

With this, I would like to express my deepest gratitude to the Government of Japan, JICE, Kyoto University, all workshop speakers, and every other Japanese person I met during the exchange program for providing me with this remarkable opportunity to gain valuable knowledge about Japanese legislation & politics and experience extraordinary Japanese culture. Another thank you to all the other participants of the program that made a significant contribution to the workshop discussions and brought me unforgettable memories. I am positive that the friendship ties and camaraderie built within the MIRAI program will last for a very long time.

#MIRAI2022 #sharemyMIRAI #Japan #JICE MIRAI Alumni



2023年3月31日 (Facebook)

キルギス 社会人

日本政府主催、JICE 実施の国際交流プログラム「法の支配」の一環として、「MIRAI」(Japan's Friendship Ties Program) プログラムを無事終了することができたことを大変光栄に思います。(略) プログラムのイベントはテーマ関連のものと文化的なものに分けることができます。テーマ関連の視察では、外務省、国際司法センター(法務省)、最高裁判所、京都大学を訪問し、西村あさひ法律事務所(日本最大級の国際総合法律事務所)で、700人以上の法律家が世界18の事務所で緊密に連携している)では意見交換を行いました。意見交換では、日本の法律、外交政策、法律文化などについての知識を深めることができました。文化体験では、東京と京都でさまざまな寺院、博物館、レストラン、観光名所を訪れました。文化的な部分の体験は、別の記事で投稿すべきとても価値のあるものでした。1992年1月26日は、キルギスと日本の外交関係樹立の日です。それ以来、日本政府がキルギス共和国に対して行ってきた支援は、非常に大きなものがあります。このように、日本の法律や政治について貴重な知識を得るとともに、非日常的な日本文化を体験できる素晴らしい機会を与えてくださった日本政府、JICE、京都大学、講師の皆様、そして交流プログラム中に出会ったすべての日本人の方々に深く感謝いたします。また、意見交換の議論に大きく貢献し、私に忘れられない思い出を与えてくれたプログラム参加者の皆さんにも感謝します。MIRAIプログラムの中で築かれた友情の絆と仲間意識は、長く続くと確信しています。

プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を通して広く発信されています。

Twitter, Instagram, Facebook ハッシュタグ: #MIRAI2022 #SharemyMIRAI